



須田っ子

第28号

学校教育目標「進んで心や体をすこやかにする子」 SA・SU・CA・DA

力を抜く大切さ(終業式の話より)

校長

令和3年度が終わります。明日、6年生は小学校を、1～5年生はそれぞれの学年を卒業する式になります。体調を整えて、全員に参加してほしいと思います。

これから様々な場面で「見せ場」があると思いますが、見せ場でしっかりと見せることは大切です。そのためには、どのようなことに注意すればよいのでしょうか？

スポーツで大切なのは、練習です。しかし、練習は試合で結果を残せるようにしたいからするのであって、練習をすることが目的ではありません。誰かに指示されて練習をこなしている人と目的をもって練習をしている人では違うのです。指示を頼りにしていると、試合でも指示されないと動けない人になってしまいます。

皆さんは、どうですか。勉強や生活で指示されないと動けなかったことはないでしょうか？

明日の卒業式は6年生や代表の人だけの見せ場ではありません。みんなに見せ場があり、みんなの態度が、声が、いい卒業式を創るのです。聞くときは聞く。声を出すときは出すなど、それぞれが見せ場と思い、これまでの練習の成果を発揮してもらいたいと思います。いい練習をしてきたかどうかは明日分かります。

そして、卒業式が終わると、春休みがやって来ます。スポーツで大切なのは、力を抜くことでもあります。ずっと力を入れ続けることは無理なので、自分の力を最大限に出すためには、力を抜くことが大切なのです。春休みは、次に向けて、力を抜く時間だと思います。力を抜くといってもダラッとするものではありません。力を入れるための準備をするのです。

呼び掛けや歌を歌っているときに、大きく息を吸うことと似ています。

少し時間にゆとりのある春休みに、学習を振り返ったり、学習用具などをそろえたり、どんな1年にしようか考えたりしてみてください。

これからの季節、外で遊ぶことも多くなると思いますが、春休み最大のめあても、「命を落とさない、事故にあわない、大きなけがや病気をしない」です。次の学年のスタートがしっかりとされるように、生活時間を考え、いい春休みにしてください。

3学期終業式で各学年の代表として発表した子供たちです。



僕が三学期頑張ったことは二つあります。

一つ目は漢字です。漢字が難しくなったので、自学で何回も練習しました。それで間違わないようになりました。

二つ目はなわ跳びです。前跳びが最初全然できなかったけど、練習したらできるようになりました。そのとき、友達が教えてくれてうれしかったです。三十回できるようになりました。

四月からは二年生になります。漢字となわ跳びができるいい二年生になりたいです。



1年生

私が三学期に頑張ったことは、三つあります。

一つ目は、なわ跳びです。かけ足跳びが、練習して百回できるようになりました。

二つ目は、漢字です。前まで、テストでは漢字を間違えることが多かったけど、練習してできなかった漢字が書けるようになりました。

三つ目は、かけ算です。八の段ができなかったけど、何回も何回も練習したらできるようになりました。

三年生になっても、テストで漢字を間違わないようにしたいです。

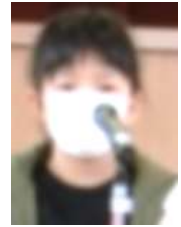


2年生

私が三学期に頑張ったことは二つあります。

一つ目は音読です。二学期は休みの日に音読がなかなかできなかったのですが、三学期は毎日音読練習を頑張りました。声を出したことで、歌うときに声が出やすくなりました。これからも続けていきたいです。

二つ目は自学です。一、二学期は宿題だけで、自学はあまりやっていませんでした。だから、苦手なわり算を自学で頑張りました。その結果、計算が間違わずにできるようになりました。四年生になっても、自学をたくさんやりたいです。



3年生

私が一年間で頑張ったことは二つあります。

一つ目は、わり算の筆算です。一、二学期は難しい問題を解くことはできなかったけど、三学期は自学や復習をたくさんすることで、問題が解けるようになったからです。

二つ目は、積極的に手を挙げることです。一、二学期は他の人が挙げてから手を挙げていたので、三学期の目標にしました。そして、自分から手を挙げることができました。五年生でも続けたいです。

この一年間で、様々なことを頑張ってきましたが、五年生では、四年生で苦手だった算数をもっと頑張り、得意になれるようにしたいです。



4年生

僕は、この三学期でよかったなと思ったことがあります。それは、作文の工夫です。今まで作文の時間に学習したことをすべて生かして書き上げました。

説明文「弱いロボットだからできること」を読んで考えたことを書きました。

気を付けたことは、序論や結論がつながるようにしたことと事実と考えの区別をしたことです。

最近テクノロジーの進歩は、ますます勢いを増しているようです。テクノロジーとわたしたちは、どのように関わっていくべきなのでしょう。

僕は、「弱いロボットだからできること」を読んで、もっとテクノロジーが進歩し続けたらいいなという考えから、ロボットとの共存も必要だなという思いに変わりました。

テクノロジーの進歩によって、メールなどで、いろんな人と会わなくてもすぐやり取りができますが、実際に会うことが減ると気持ちが伝わりにくくなったり、思いやりや支え合いの気持ちが減ったりするのではないかと思います。

僕は、この本にあるような「何かをしてもらう人間と何かをしてくれるロボットのような関係ではなく、互いに支え合う心地よい関係」という考えがとても素晴らしいと思います。便利か思いやりや支え合いの気持ちかのどちらかを選ぶことになったら、思いやりや支え合いの気持ちの方がうれしいと思ったからです。

僕たちの生活は、「弱いロボット」が存在することで、そのロボットに対しても思いやりや支え合おうという気持ちが増えると思いました。

だから、テクノロジーとは互いにうれしくなるような行動をして関わっていくべきだと思います。このように、これまでの学習を生かすことができました。六年生になっても生かしていきたいです。



5年生

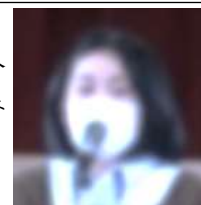
私は三学期に頑張ったことが二つあります。

一つ目は学習です。三学期は組み合わせ学習を頑張りました。それまでの私は組み合わせ学習をあまりしていませんでした。なぜ、それをやらなかったのかを振り返ってみると、時間の配分を考えず、宿題だけをやって過ごしていたからだと気付きました。

そこで、家に帰ってすぐに勉強をするようにしたところ、組み合わせ学習をする時間が生まれました。だから以前よりもずっとたくさん組み合わせ学習に取り組むことができるようになりました。

二つ目は健康に気を付けたことです。今はまだ、新型コロナウイルスがはやっているんで、手洗いやうがいをごまめにきちんとやっています。その他にも、免疫力を上げるため、早寝早起きをしたり、運動をしたりしました。卒業式が近くなればなるほど、健康を意識して取り組みました。おかげで、明日の卒業式を元気に迎えられそうです。

このように、時間を考えて勉強をするようにしたり、コロナウイルスにかからないようにしたりすることを頑張りました。卒業しても続けていけるようにしたいです。



6年生